

# 千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより

第19号 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の連携 について

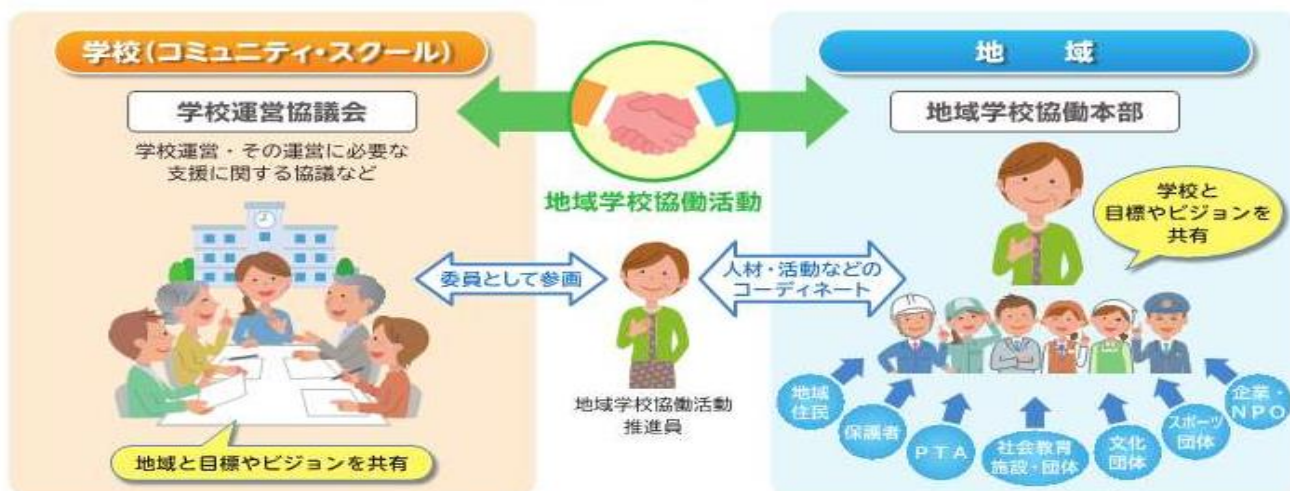
2020年10月1日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



## 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進」

千葉県教育委員会では、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことができる「コミュニティ・スクール」と地域と学校が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」の一体的な実施を推進しています。

### コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として



### コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めるためには…

まず、関係者で目標やビジョンを共有することが重要で、**学校運営協議会**がその役割を果たします。その結果を踏まえ、幅広い地域住民等が参画することによって、教育活動や**地域学校協働活動**の充実や活性化につながります。

**学校運営協議会**と**地域学校協働活動**を一体的に推進することで、相乗効果を発揮し、学校運営の改善と地域づくりに資する活動が進んでいくことが期待されます。

### 学校と地域、双方から見たPDCA（計画→実行→評価→改善）

効果的かつ持続的な学校運営と地域学校協働活動の仕組みを構築するためには、**学校運営協議会**と**地域学校協働活動**のそれぞれのPDCAを回しつつ、お互いが連携・協働することが重要です。





## 地域のコミュニティ・スクール導入に向けた取組の紹介

今回は中核市の**柏市教育委員会**の取組を Q&A 方式で紹介します。

Q1 現在のコミュニティ・スクールの状況を教えてください。

A1 令和元年度よりモデル校として4校2中学校区で導入を開始し、令和2年度末までに21校で11の学校運営協議会が導入されます。柏市では令和5年度までに市内小中学校63校全校で導入を予定しており、単独校での導入や中学校区での導入等、地域と学校の実態に合わせて柔軟に対応しています。

Q2 コミュニティ・スクールの導入に向けて、どのような取組を行っていますか。

A2 まず、先進市への視察を行いました。また、平成30年度には、学校運営協議会設置に向けて「柏市学校運営協議会設置運営規則」を制定しました。令和元年度には「柏市コミュニティ・スクールガイドライン」の策定を行い、導入を進めています。市内各小中学校への説明をはじめ、学校評議員会、地域団体、社会教育委員会など関係各所への説明を現在も行っていきます。今後は、さらに市長部局との連携の可能性を模索しながら、設置された学校運営協議会の運営及び新規設置に向けたサポートを行っていきます。

Q3 取組の中で課題となっていることはありますか。また、どのように解決しましたか。

A3 学校現場においては、コミュニティ・スクール導入による学校の変化、成果がすぐには見えないため、導入するメリットを感じづらいという声もあります。このため、個々の学校の特色を大切にしながら、徐々に進めてくように各学校へ助言しています。地域人材については、概ね同じ方が学校や地域と関わっていることが多いため、負担が増えることを懸念しています。この活動の周知と理解者を得るため、広報活動の強化も必要と考えます。一方、学校内でも、教職員の負担が増えるのではないかという懸念があります。要請があれば、市教育委員会の担当者がすぐに学校に出向いてコーディネートを行い、教職員と地域をつなぐ取組を行っています。



「コミュニティ・スクールや地域連携協働活動」についてもっと知りたい方は

(文部科学省・厚生労働省合同ホームページ)

<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学び未来 で検索